

**公益社団法人 日本経営工学会**  
**第 34 期第 7 回理事会議事録**

日 時：平成 30 年 7 月 7 日(土)14:00～18:20

場 所：東京都市大学渋谷サテライトクラス A 教室

出席者：(理事) 石井和克, 開沼泰隆, 内田耕平, 大久保寛基, 中出康一, 西岡久充,  
八木英一郎, 片岡隆之, 西村泰一  
(監事) 河野宏和

欠席者：(理事) 外館晃, 辻村泰寛, 中島健一 (監事) 皆川健多郎

## 議決事項

### 1. 第 34 期第 6 回理事会議事録の確認の件

庶務担当理事より、(資料：7-1)に基づき、第 34 期第 6 回理事会議事録(案)が提示され、全会一致で承認された。

### 2. 入会承認の件

会員担当理事より、(資料：7-2)に基づき、正会員 10 名、学生会員 1 名の入会申請が報告され、全会一致で承認された。なお従来、優秀学生賞に選ばれた学生は 1 年間の会費が免除され、免除期間は学生会員に含まれず、1 年後に学生会員としてカウントされていた。しかしこの方法はわかりづらく、混乱を招くことから、優秀学生賞に選ばれた学生は免除期間であっても学生会員としてカウントすることとなった。そのため、(資料：7-2)『平成 30 年度会員異動報告書』の 4 月 1 日時点における学生会員数を修正し、2017 年度の優秀学生賞に選ばれた学生 17 名を学生会員として追加したことが報告された。今後は同様の方法で運用することも確認された。併せて、同資料の「(5 月 12 日時点会員数)」の学生会員 150 名を 167 名に修正することも確認された。

### 3. 2018 年春季大会 Best Presentation Award の件

表彰担当理事より、(資料：7-3)に基づき、2018 年春季大会における Best Presentation Award 受賞者 5 名の報告があり、全会一致で承認された。なお、懇談事項として審査項目の見直しや開示などについて、今後表彰委員会にて検討を始めることが確認された。

### 4. 2018 年秋季大会における「(仮)学生版技術士を目指そう説明会」開催の件

人材育成担当理事より、(資料：7-4)に基づき、2018 年秋季大会にて「(仮)学生版技術士を目指そう説明会」を開催する案が提示され、詳細については今後一部修正が入ることを条件に全会一致で承認された。

### 5. その他 なし

## 協議事項

### 1. 次期役員・代議員選挙について

庶務担当理事より、(資料：7-5)に基づき、次期役員・代議員選挙案が提示され、「役員及び代議員選挙規則」に則って次期選挙を行うことが全会一致で承認された。役員・代議員選挙それぞれにおいて、立候補者数が定員を下回った場合の推薦基準案についても提示された。代議員推薦基

準について、具体的な人選については推薦委員会に一任するが、「選挙委員会への報告の際に、推薦理由(例えば、これまでの学会での実績など)も併せて報告する。」ことを加えて、全会一致で承認された。また、選挙委員会委員及び代議員推薦委員会委員については、9月の理事会にて議決することが確認された。

## 2. ConCom 活動概要とこれを協賛する案件について

会員担当理事より、(資料:7-6)に基づき、ConCom の活動概要の紹介と2019年度にConComを協賛する案が提示された。2019年度の協賛案については継続協議とし、今後、国際渉外委員会にて検討を進めることが確認された。

## 3. 各研究部門の英語呼称について

研究担当理事より、(資料:7-7)に基づき、各研究部門の英語呼称案が提示された。「研究部門」の総称を「Research Divisions」、「経営情報部門」を「Division of Management Information」とすること以外は原案通り、全会一致で承認された。

## 4. 2018年の表彰スケジュールについて

表彰担当理事より、(資料:7-8)に基づき、2018年度の表彰スケジュール案が提示された。2019年1月12日の理事会での議決はスケジュール上困難であるため、1月12日の理事会では現況についての報告に留め、随時理事会 ML で情報共有を進めながら、2月上旬にみなし決議を実施することが全会一致で承認された。

## 5. 優秀学生賞について

表彰担当理事より、(資料:7-9)に基づき、優秀学生賞のあり方についていくつかの案が提示された。理事会としては、「大学院進学者は入会費と1年間の会費を無料にすることができるが、就職する学生が受賞した時は入会を要請しない。」方針とすることが全会一致で承認された。

## 6. 2019年秋季大会について

大会担当理事より、(資料:7-10)に基づき、2019年秋季大会案が提示され、9月に開催することが全会一致で承認された。また、日本IE協会との共催として検討を進めることも全会一致で承認された。なお、赤字回避のためにより精度の高い予算案を理事会に提示するように要請がなされた。

## 7. 大会予稿集の電子化について

大会担当理事より、(資料:7-10)に基づき、大会予稿集の電子化についての提案がなされ、2019年秋季大会より電子化を実施することが全会一致で承認された。ただし、次の2点については次期大会において試行的に運用し、場合によっては今後再度検討することが確認された。①予稿集のページ数は2ページを標準として、上限4ページまでとする、②大会後の予稿集の扱いは、会員のみ限定して学会 Web サイトで公開する。

## 8. 財務状況健全化のための検討結果について

財務担当理事より、(資料:7-17)に基づき、財務状況健全化のための事業の見直し案(事業の「選択と集中」と事務局移転案)が提示された。事業の見直しについては、経営システムのデジタル化など一部進行中のものもあるが、その他の見直しについても各種委員会にて検討するよう石井会長より要請があった。事務局移転については、財務委員会で挙げられた懸念に加え、公益社団法

人や監査への対応、各種委員会への業務負担を懸念する意見が出された。また、年会費や大会参加費の値上げなど収入を増やす方策を検討すべきであるとの意見が出された。事務局移転は慎重に判断する必要がある、業務委託内容の詳細や他学会の過去の実績なども提示して欲しいとの意見が出された。事務局移転は継続審議とし、事務局移転先候補の情報収集を行いながら、公益社団法人の業務内容の精査、さらに他の事務局移転先候補の共有などを進めることが確認された。

## 9. その他 なし

## 報告事項

1. 会員担当理事より、(資料：7-2)に基づき、退会についての報告がなされた。
2. 会員担当理事より、(資料：7-11)に基づき、My PAGE の PR についての報告がなされた。
3. 会員担当理事及び大会担当理事より、(資料：7-12)に基づき、2018 年春季大会でのアンケート分析についての報告がなされた。
4. 大会担当理事より、(資料：7-18)に基づき、今後の大会(2019 年秋季大会開催会場及び 2018 年秋季大会の講演)についての報告がなされた。
5. 研究担当理事より、(資料：7-13)に基づき、JIS 改訂についての報告がなされた。
6. 研究担当理事より、(資料：7-13)に基づき、産学連携研究交流会、IE 大会等への協力についての報告がなされた。
7. 研究担当理事より、(資料：7-13)に基づき、プロジェクトの評価についての報告がなされた。
8. 庶務担当理事(国際渉外担当理事代理)より、(資料：7-14)に基づき、協賛行事報告がなされた。
9. 庶務担当理事(論文誌編集担当理事代理)より、(資料：7-15)に基づき、掲載料・別刷代請求一覧についての報告がなされた。
10. 代表理事より業務執行状況について報告がなされた。まず石井会長から(資料：7-16)に基づき報告がなされ、メールマガジンの「会長のつぶやき」に対する会員からの提案があったことが紹介された。開沼副会長からは、事業の「選択と集中」について財務委員会を招集して議論・検討を行ったこと、事務局移転先候補に赴き、JIMA の活動内容に対する業務委託費(案)の見積もりを取った旨の報告がなされた。内田副会長からは、2018 年春季大会に参加した非会員の情報をプレ会員リストに登録し、メールにて入会案内パンフレットを送付したこと、2018 年春季大会のアンケート分析、My PAGE の改良対応の素案作成、会員名簿の問い合わせに対する情報セキュリティ対応、ConCom に関する調査とキックオフミーティングへ参加した旨の報告がなされた。
11. その他
  - 財務担当理事より、2018 年度の第 1 四半期の予算執行状況を 7 月末までに報告するよう依頼がなされた。

- 庶務担当理事より、第9回理事会を平成30年10月28日(日)の秋季大会終了後に開催することが報告された。
- 経営システム誌編集担当理事より、経営システム発刊についての進捗状況が報告された。電子化についても準備を進めている段階であり、バックナンバーについても順次電子化を行うとともに、アクセスログ解析から今後の方向性を検証していくことが報告された。

※次回第34期第8回理事会は、平成30年9月15日(土)14:00～17:00、東京都市大学渋谷サテライトクラスにて開催する。

議 長 石井 和克 印

議事録署名人 河野 宏和 印